

科目名	H I P H O P 8								年度	2026
英語科目名	HIP HOP 8								学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科	2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	HIGE		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー		
【科目の目的】 この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作る。 また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。										
【科目の概要】 この科目では1年次で習得したヒップホップダンスの基礎技術を基に、難易度の高い振付に対応する能力を伸ばしていく事を目標とします。1つ1つのムーブメントを丁寧に行い、体幹・アイソレーション・リズムキープがきちんとできるようになります。また細かな振付まで制限時間内に正確に覚え、表現ができるように振り覚えの技術を向上させます。										
【到達目標】 A. HIPHOPの基礎的なステップを理解、習得している。 B. 振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。 C. 振付を時間内に習得し自分のものにする事ができる。 D. クリアな踊り、個性を出す踊り共に身につけている。 E. 音楽に合わせて何通りもフリースタイルで踊る事が出来る。										
【授業の注意点】 前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	受講態度も良くHIPHOPの基礎的なステップを理解、習得している。		受講態度も良くHIPHOPの基礎的なステップをやや理解、習得している。		HIPHOPの基礎的なステップをやや理解、習得しているが受講態度が良くない。		HIPHOPの基礎的なステップの理解、習得度が低い。		受講態度も悪くHIPHOPの基礎的なステップの理解、習得ができていない。	
到達目標 B	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。		受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。		振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている受講態度が良くない。		振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。		受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。	
到達目標 C	受講態度も良く振付を時間内に習得し自分のものにする事ができる。		受講態度も良く振付を時間内に習得できるが、個性を出せない場合がある。		受講態度も良く振付を時間内に習得できるが、個性を出せない。		振付を時間内に習得する事はできる。		受講態度も悪く振付を時間内に習得する事ができない。	
到達目標 D	受講態度も良くクリアな踊り、個性を出す踊り共に身につけている		受講態度も良くクリアな踊りは出来るが、個性を出す踊りも多少できる。		受講態度も良くクリアな踊りは出来る		クリアな踊りに不安があり、個性が強い踊りになる		クリアな踊り、個性を出す踊り共に出来ていない。	
到達目標 E	受講態度も良く音楽に合わせて何通りもフリースタイルで踊る事が出来る		受講態度も良く音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる		音楽に合わせて1～2通りであればフリースタイルで踊れる		短い時間であればフリースタイルで踊れる		フリースタイルで踊る事が出来ない	
【教科書】 適時レジュメ・資料を配布する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 成果発表 50％ 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 50％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

